

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-372-3006

年度	平成26年度		
施設名	重要文化財旧笹川家住宅	所管部・課	南区役所地域課
施設の設置目的	旧笹川家住宅を活用し、味方地区の歴史資料、民俗資料、その他の資料を保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する認識を深めるとともに、市民文化の向上に資する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H26.5.17
歳入	(2,904)	正職員		修正日	
歳出	10,935	非常勤	1	評価日	H26.6.4

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26目標					H26結果
1	市民	ボランティアガイドの充実	現在6名のボランティアガイドを増員する	7名	12名	12名	15名	12名	専門的知識を有する必要があるガイド業でありながら手弁当て無報酬のため、人材の発掘が難しい	広報等通じながらガイド希望者を募集していく。	現在のボランティアに皆さんからも口コミで勧誘を行ってきたが、新たな登録者の発掘に至らなかった。	C:未達成
2	市民	ボランティアガイドの情報交換の徹底	月1回の情報交換会を行い笹川邸に関する新しい情報の発掘に努める	11回	9回	10回	12回	10回	ガイド業務中に新しい発見や、情報を得ることがあるので、その知識の共有を行う		1月・2月は入館者も少ないことから情報交換会は開催しないこととなった。	C:未達成
3	市民	入館記念として、笹川邸のマスコミグッズ”ささたん”(笹団子のミニチュア)を作成し、入館者に贈呈する	入館者に記念品として”ささたん”を1人1個配布する	-	8,695人に配布	約4,000人に配布	8,000人に配布	約5,400人に配布	記念品の”ささたん”を媒体に笹川邸のPRも進め、入館者の拡大も図る	重要文化財旧笹川家住宅邸活性化事業(笹川邸ハルティグッズ配布事業)	入館者の約95%の入館者に配布したが、入館者が予定よりも少なかったため配布数も減少し、目標に達しなかった。	C:未達成
4	業務	防火訓練の実施	国の重要文化財である「笹川邸」の防火対策を強化する	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回	文化財防火デーに伴う消防訓練と併せて初期消火の訓練を行い、初動体制のさらなる強化に努める	文化財防火デー消防訓練 南消防署の立入検査時の訓練	文化財防火デー消防訓練(1/25)及び笹川邸自衛消防隊(7/25)で初期消火訓練等実施した。	B:達成
5												
6												
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
当施設は、市単独所有の唯一の重要文化財であり、文政9年(1825)に7年の歳月をかけて建築された古い邸宅で、敷地面積が14,252.24㎡、すべての施設の延べ床面積が1,869.57㎡もある大庄屋の役宅兼住居であり、その取り扱いには細心の注意が必要な施設として、今後も維持管理を行い、江戸時代の建築物を大勢の人から見てもらう目標を設定した。	一昨年開催した笹川邸ボランティアガイド募集・養成講座の開催以来、ガイドの登録と併せ、口コミによるガイド勧誘・登録の周知を行ってきたが、目標を達成することができなかった。笹川邸の入館者についても目標を大きく下回っているが、平成26年度は500人の入館者増加があり、イベントをはじめとした諸活動の成果が出たものと捉えている。今後は、笹川邸の魅力再発見事業からの提言実行や、自主事業、関係団体との連携を深め、入館者目標の達成に向けて努力していく。その延長としてボランティア育成の土壌を醸成していく。 また、国指定重要文化財の建造物としては市単独の所有でもある笹川邸の価値をPRするとともに、火災による消失や油等による毀損事案が発生しないよう職員一丸となって文化財保護に努めていく。